

質問コーナーQ&A

Q1 ふれあい教室で児童生徒は、どのように過ごしていますか？

- ・ふれあい教室の開室日の9時から16時までの時間であるならば、いつ来ていつ帰ってもよいので、通級児童生徒のその日の体調や気持ちに合わせて来室時刻や退室時刻を決めています。
- ・通級児童生徒の体調や気持ちに寄り添うことを大切にして、本人と相談しながら、1日の過ごし方(学習や読書、その他の活動)を決めています。
- ・学習は、自学自習を基本にしていますので、学校のような黒板や電子黒板を使つての一斉授業はありません。個々の学習に寄り添って支援をしています。したがって、その日に学習しようとする教科書やノート、ドリル、ワーク、市販の参考書や問題集等を持参してもらっています。ふれあい教室で用意するプリントを用いて学習することもあります。
- ・その他の活動とは、例えば、漫画本を読んだり、タブレットで動画を視聴したり、カードゲーム(トランプやUNO等)、ボードゲーム(オセロや将棋、人生ゲーム等)、キーボード、卓球等のことです。
- ・体育館が使える時には、バドミントンやTボール等の運動をすることもあります。
- ・お昼を挟んで通級する場合は、お弁当が必要となります。お弁当は、みんなで食べています。

Q2 ふれあい教室への送迎支援について、何かありますか？

- ・ふれあい教室へは、安全面を考慮して、原則保護者の送迎をお願いしています。
- ・小学生においては、交通安全や不審者等の安全面から、保護者の送迎をお願いしています。
- ・中学生においては、遠方であったり、仕事の事情で9時から16時の間での送迎ができなかったりする場合、自転車、バスでの通級も許可しています。
- ・ふれあい教室への送迎支援について、現状では、ファミリーサポート(有料)を利用することは可能です。

※ファミリーサポートは、関市ファミリーサポートセンター(23-7774)に問い合わせ願います。

Q3 WISC 検査を受けられる機関を教えてください。

- ・各務原病院 ・中濃厚生病院 ・県立希望が丘こども福祉医療センター等の医療機関を受診して検査を受けることができます。

Q4 学校以外に相談する窓口はどこにありますか？

- ・まなびセンター 23-7760 ・ふれあい教室 23-7773

※ どちらも 関市若草通2丁目1番地 わかくさプラザ 学習情報館(3階)にあります。

Q5 相談窓口で電話をすると誰が対応してもらえますか？

- ・まなびセンターの職員または、ふれあい教室の職員が対応します。

Q6 相談したら、どんな対応をしてもらえますか？

- ・相談者の困り感に寄り添って、まずは十分に話を聞きます。
- ・学校名や学年、お名前、連絡先等をお聞きする場合があります。
- ・相談事は、個人的な内容ですが、問題点を明確にしたり、整理したりするために、詳細についてお聞きすることもあります。
- ・受け付けた職員一人で判断できない場合は、関係職員と協議し、後日返事をさせていただくことがあります。
- ・守秘義務は厳守します。

Q7 相談した内容は、各学校の方に、話をすることはありませんか？

- ・相談者の了解のもと、学校の管理職に連絡します。

Q8 学校で、担任以外に相談はできないですか？（窓口が、どうしても担任になるのですが…）

- ・担任以外でも相談はできます。現在、学校ではマイサポーター制度を導入しており、担任以外の先生にも相談することができます。
- ・生徒指導主事、教育相談コーディネーター、学年主任等、いろいろな教員が窓口になります。もちろん校長、教頭も可能です。

Q9 進学、勉強に対して、特に遅れに不安があります。支援等がありますか？

- ・ふれあい教室が主催する通信制高校の進路説明会を行っています。
- ・学校と連携し、リモート学習の支援をすることができます。
- ・ふれあい教室の職員が可能な範囲で学習支援をします。

Q10 子どもが学校の教室、相談室、保健室、ふれあい教室、フリースクール…どこにも行きたくないと言います。どんな対応をすればよいですか？

- ・保護者にとって、お子さんが上記のようなことを言い出すと、どうしたらよいのか？途方に暮れてしまうことでしょう。お子さんの話をよく聞き、まずは共感してあげることです。その上で、お子さんの困っていることを整理してあげることです。
- ・一人で悩まないで、学校やまなびセンター、ふれあい教室等に相談してみてください。
- ・ふれあい教室が行っている「ふれあい親の会」への出席も選択肢の一つです。臨床心理士の先生に相談することで、アドバイスをいただけます。また、お子さんがふれあい教室に通級していた保護者からの経験談は、子育ての参考になります。